

1. 教員および授業の概要

①教員名：鄭 世桓 (Jeong Saehwan)

②担当科目

- ・博士前期課程：韓国語特別演習 I・II

① 教員のプロフィール

- ・東京外国語大学大学院地域文化研究科博士課程前期課程修了
(修士号：言語学)
- ・東北大学大学院国際文化研究科博士後期課程
(博士号：国際文化)
- ・日韓対照言語学、歴史言語学、日本語学、韓国語学

④所属学会

朝鮮学会 / 日本言語学会 / 日本語学会 / 日本認知言語学会 / 東北大学国際文化学会 / 韓国学研究会 / 韓国日語日文学会 / 韓国近代日本学会

2. 学生に対するメッセージ

私はこれまで主語や目的語、補語などの文の成分における格関係の決め手となる動詞に焦点を当て、日韓語の動詞が持っている語彙的・文法的意味を、形態論や統語論的な側面から考察しました。特に本動詞の文法的な意味を助けるとされる補助動詞の中で、アスペクト的、かつモダリティ的意味・用法がともに内在するテシマウ形式とそれに対応する韓国語の補助動詞を分析することから、動詞におけるアスペクトやモダリティの在り方を考察することを目的としています。また、韓国語教育学研究の一環として、現在「朝鮮植民地期の朝鮮語奨励政策による朝鮮語教育の言語学的考察」に取り組んできましたが、これからも日韓対照言語学や外国語教育学の観点から分析を行い、当時の日朝語の言語学的様相を位置づけ、朝鮮語史はもとより日本語史の研究にも貢献していくと同時に、言語学的観点から植民地支配における朝鮮語奨励政策のあり方を検証することを目指しています。

皆さんとの授業では外国語としての基本的な韓国語能力の向上とともに、少しでも皆さんの専門分野と関連のある文献の講読ができるような授業としたいと思います。宜しくお願いします。